

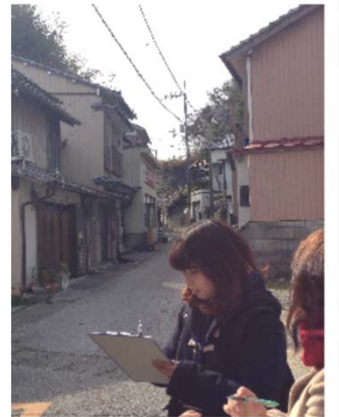
※今後の被災地支援や起こりうる自然災害、日常の防災・減災活動に向き合う学生を対象とした研修会です。

東日本大震災 災害復興支援の体験から学ぶ コミュニティ支援力養成研修会

第6回となる研修会のテーマは、
隣接地の拠点形成とボランティアコーディネート
～首都直下地震、その時、何をすべきか！～

東日本大震災の被災地、岩手県での開催にはじまり、愛知県、兵庫県、高知県と、すでに5回の研修を重ねてきました。これまでの被災地や、その復興に学び、未来の災害に備えること…それは、自分たちの地域で「ふだんのくらしのしあわせ」を大切に過ごすことにほかなりません。

今回は首都直下地震の際に、隣接する地域として支援拠点となる宇都宮大学を会場に、拠点形成とボランティアコーディネートについて学びます。



日時: 2014年10月12日(日)13時～10月13日(月・祝)15時

場所: 宇都宮大学とその周辺

対象: 災害復興支援に向き合う全国の学生

※高等教育機関(大学、専門学校等を原則とします)

※宿泊は栃木県芳賀青年の家

参加費 4,000円

※食費・宿泊費の実費

内容

- 首都直下地震の被害想定を描く
- 隣接地域のボランティア拠点の実際を知る
- 現地災害ボランティアセンターの課題を学ぶ
- 近隣のフィールドワーク
- 災害発生に備えた大学間連携の可能性を描く

【持ち物】

- ※筆記用具
- ※1泊2日の生活用品



◆無料送迎バスのお知らせ◆

岩手から無料送迎バスが運行されます。

出発10/12 : 盛岡発 06:00

解散10/13 : 盛岡着 21:00

上記の発着時刻は予定です。

【お問い合わせ】

NPO法人 さくらネット

e-mail: cm2013_kobe@yahoo.co.jp

【お申し込み・研修会の詳細】 ※定員70名

NPO法人 いわてGINGA-NET公式HP

<http://www.iwatenginga.net>

※本研修会は文部科学省「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」として、岩手県立大学と宇都宮大学、NPO法人いわてGINGA-NET、NPO法人さくらネットが協働で実施しています。